

NAS TOA (Thailand) Co.,Ltd.における自家消費型太陽光発電設備の導入

日本冶金工業株式会社およびナストア株式会社（ステンレス鋼溶接管、高機能材溶接管の製造・販売）のグループ会社であるNAS TOA (Thailand) Co.,Ltd.は、自社のバンブー工場（タイ国 サムットプラカーン県）に工場屋根を活用した自家消費型太陽光発電設備を2024年5月に導入し、2025年7月付で首都圏配電公社から正式承認されました。

1. 背景

日本冶金工業では「事業活動を通じた地球環境への負荷低減」（CO₂排出量の最小化）を重要課題として位置付けており、その具体的な取り組みの一つとして「グリーン電力の活用」を掲げています。また、日本冶金工業グループ全体としても、カーボンニュートラルの実現に向けて推進しているところです。

2. 概要

本件は、熱帯の恵まれた気候と自社事業所内の工場屋根を利用することで効率的な再生可能エネルギー導入を目指したものです。当地では電力の小規模事業者による売電は認められていないため、能力的には使用量見合いとし、ソーラーパネルによる自家発電からの電力を優先的に使い、夜間を中心とした不足分は従来同様に首都圏配電公社から購入する仕組みです。

タイ国は環境保全やエネルギー安全保障の必要性により再生可能エネルギーの活用を推進しており、タイ投資委員会（BOI）の当該投資に対する税制優遇も活用しています。

- 年間発電量 119万 kWh（初年度）
- 年間CO₂排出削減量 711トン（初年度）→タイ国CO₂排出係数0.5986により算出
- 設置場所 NAS TOA (Thailand) Co.,Ltd.（タイ国サムットプラカーン県）
- 設計・施工 Panasonic Solutions (Thailand) Co., Ltd.

3. 導入の目的

- 約25%の電気代削減効果
- CO₂削減により日本冶金工業グループ全体のカーボンニュートラルの推進に寄与

4. 投資額

約1億4千万円



NAS TOA (Thailand)の太陽光発電設備（工場屋根に設置）

日本冶金工業グループは今後も再生可能エネルギーの導入や省エネルギーの推進により、事業におけるCO₂の排出量を削減し、カーボンニュートラルの実現に向けて努めてまいります。

本件に関するお問い合わせ先： ナストア株式会社：管理部（電話：03-6895-1370）
NAS TOA (Thailand) Co.,Ltd（電話：+66-2-324-0935）